

SPECIAL
INTERVIEW

森高一真

SOLID FIST
4030
KAZUMA

4030 KAGAWA
Moritaka
Kazuma



やっぱりもう1回グランプリに出てみたい

西山や片岡と一緒にに行けたら最高やな



10年ぶりのダービー出場

10年ぶりかつ！ そんな前になるんやな。でもな、(選考期間に入った) 前々期に勝率を結構取ったから、今期頑張れば行けるなというのを感じとった。それまでは7点取れるかどうかくらいをちよろちよろしとったからな。

でも勝率を残せたのはたまたまやな。何が変わったとかなないから、結果的に成績が良かっただけ。グランプリに初めて出た2017年から、ここまで結果を残してないからな。ワシの中で節目というか、いろいろ区切りがあったんよ。20代はとにかくがむしやらにやっ代はとにかく脂が乗って、40代はその実力をキープ。そやから39歳がグランプリに出るラストチャンスやと思つて、頑張つて初めてグランプリに出場することができた。

そしたらさ、やっぱり力が抜けるよな(笑)。キープできてない。予定通りには行つとったんよ。段階的に。けど40歳になってA2級に落ちて、それからほんまダラダラつて来てしまった。元々、集中力をずつと維持できるタイプじゃなかったから、結果が出た時に燃え尽き症候群に近い感じになってしまった。何なら抜け過ぎた。だから「今年は何があった？」つてよく聞かれるんやけど、ほんまにたまたまなんよ。でも(SG出場の) 権利が取れそうだなつて機

会があったから、それに向けて頑張ったんかな。今回のダービーがまさにそうやった。ダービーの権利を頑張つて獲れたから、いい流れでここまで来れてるんちゃうかな。

3年ぶりのオールスターで優出

デカかったな。メダルももらえたし(笑)。優出自体も若松のモリアル(2017年)以来やからな。ワシはチャレンジカップを獲つたのに、グランプリに行けんやつたわけやんか。あの時はバックストレッチで(齊藤)仁さんが3着を走つとったから、行けないつてのがレース中に分かった。だからなおさらグランプリには1回は行きたいつてなつたんや。まあ次の年にグランプリが12人から18人になって。ワシのせい？ ワシのおかげで枠が18人になつたんやで。ルールを変えた男や。

オールスターで3着になれたことで獲得賞金額も上がってきたから、またグランプリを目指せるかもしれないつてなつた。もちろん毎年グランプリを目指してるんやけど、結果がついてこなかったら、漠然としてしまつてそれを正味の目標にすることができんのよ。20代や30代の時ほど、ガツガツはしてないな。見えないことに対しては、人間なかなか頑張れんもんなんやて。他の人は1年間ずつとできてきと思うけど。



2度目のグランプリへ

率直に言ってええか？ 行きたい。ほんま行きたいな。欲とかじゃなくて行きたい。グランプリってすごいんよ、あの空気。えぐいんやて。普通のSGじゃ味わえん。新しいグランプリカップも欲しいしな(笑)。初めての時は特に浮ついた感とかなくレースできたけど、やっぱり初めての時と2回目の時って違うやん。今年はえー感じて来てるからな。西山(貴浩)や片岡(雅裕)がグランプリを目指して頑張つとる影響はもちろんあ

Profile

森高一真(もりたか かずま)
1978年6月3日生まれの46歳。99年11月に鳴門で85期生としてデビュー。4走目に水神祭をあげた。GIは通算33優出で優勝4回、SGは6優出で優勝1回。グランプリは2017年に初出場を果たした。SGウイナーを多く輩出する同期の「銀河系軍団」は井口佳典、田村隆信、丸岡正典、湯川浩司。身長169㎝、体重50*㎏。血液型=AB。

	勝率	2連対率	出走回数	優出	優勝	1着	F
通算成績	6.86	66.09%	6786	235	44	1704	12

	日付	競艇場	レース種別	通算日	節間成績
	初出走	1999.11.11 ~	鳴門	一般	235133
	初優出	2001.1.10 ~	津	一般	1年2か月 23232211④
	初優勝	2001.6.27 ~	宮島	タイトル	1年8か月 233121126①
GI	初出走	2001.2.2 ~	鳴門	地区選	1年3か月 14失4544失4
	初優出	2005.9.14 ~	丸亀	周年	5年10か月 6312141④
	初優勝	2005.11.3 ~	宮島	周年	6年0か月 3213311①
SG	初出走	2005.3.22 ~	多摩川	クラシック	5年5か月 46614551
	初優出	2010.10.6 ~	桐生	ダービー	10年11か月 322232②
	初優勝	2013.11.19 ~	津	チャレンジC	14年1か月 411111①



る。距離が近いから頑張れる。近
すぎるけどな(笑)。でもやっぱり
一緒に行きたいな。

香川支部の今

将来性抜群やで。環境もめちゃ
めっちゃいいと思う。A1級が増え
た。片岡の次の世代の近江翔吾、
中村晃朋、石丸海渡、竹田和哉。
この4人は結果を出せる。出さな
いかん。その下の世代にも田頭虎
親、中村日向、濱野斗馬。こいつ
らは香川支部を背負っていつてく
れる。メモリアルにこの辺の世代
が行けば盛り上がる。出てほしい
と思う。だから今年の丸亀のメモ
リアルは、ワシは最後の出場くら
いの気持ちで出た。(準優のイン
取りは)前の晩からいろいろ考え
とったんやけど、相手は峰竜太や
ろ? 勝ち筋が全く浮かばんやっ
たんよ。だから隙あらばインまで
とは思ってた。オッズ見てへんけ
ど、峰の次にワシが売れてる、ほ
ずやんか。知らんけど。だからほ
んま勝ちたかった…。逃げたら
100点だったけど、あんななっ
てしまったら0点のレースやな。
弟子は原村拓也と谷口佳蓮。佳
蓮も頑張つとるがまだまだヌル
い。ワシらの時代の人間はもつと
練習しとつたし、もつと頑張つと
つた。勝ちたいオーラを出して、
もつと上を目指してほしい。



SPECIAL
INTERVIEW



K Moritaka Kazuma

人間関係・つながり

ポンコツ会は迷惑やなく(笑)。これだけ言うとか、ワシは違う。ポンコツかもしれないが、ポンコツ会ではない。20歳で本栖(養成所)に入って21歳で選手になって、まっとうな道を歩んできた。親もやつと安心したわけ。なのに45歳を過ぎてポンコツ会に入ったら、親が泣いてまうやないか。西山はワシがデビューして24年間作ってきたキャラを崩してしまっただ。でも今年オールスターに出場できたのは、西山の影響がちよつとどころかまあまあデカイ。西山が常にワシの名前や写真を勝手に世の中に出したり、いじったり...。ほぼアイツのおかげや。石野(貴之)はポンコツやけど、あいつはレベルがちやうからな。(齊藤)仁さんは新鋭リーグの時代からの付き合いやから、ずつと一緒にいるわ。まあトークショーは断らんけどな(笑)。

でもオールスターに限らず、西山のおかげっていうことが結構ある。いつもわちやわちやしやべつとるけど、仕事に関してはすごく一生懸命で誰よりも真面目。後輩やけど見習うところ、尊敬するところが多い。だからあんなだけしゃべってても周りが何も言わんのよ(笑)。

でもワシはほんまに人に恵まれる。先輩にも後輩にもな。(来

年の)丸亀オールスターは香川からいっぱい出たいな。

プライベート

趣味が何もないんよ。全くない。ゴルフもせん、釣りもせん、サーフィンもせん。だから普段は子どもと嫁と弟子の面倒を見てるだけ。家族サービスが趣味か?(笑)。西山家と片岡家と一緒に遊園地に行くくらいか。あと、たまに宮地(元輝)。家族ぐるみで付き合いできるのはいいね。気を使わんでええしな。今後は息子と一緒にできる趣味を作りたい。

今後に向けて

この年齢になると老眼がくる、動体視力が落ちる、体の可動域が狭くなる。もうこれは40歳を超えた時点で否めんし、避けられん。肉体の衰えはしようがないから、あとは気持ちやな。勝ちたい気持ち。もう1回SGを獲りたい気持ち。もうもちろんある。目の前に目標がぶら下がったら、全力で獲りに行けるように頑張ります。でもまたグランプリに出ることができたら、また燃え尽きてしまふんかな。そうならんようにせんとな。